

## 武蔵野赤十字病院 外科・消化器外科

### 1. 豊富な症例数

当院の最大の特徴は豊富な症例数です。特に後期研修医（専攻医）が術者として経験できる症例数が多数あります。癌の手術から緊急手術まで多数を経験できるのが当科の強みです。先進的なロボット手術を見ることもできますし、術者として腹腔鏡手術の経験を積むこともできます。2019年の手術総件数は928例でした。主な症例は、食道癌 12例、胃癌 80例、大腸癌 223例、膵臓・胆道癌 43例、肝癌 25例、胆石 141例、虫垂炎 117例、ヘルニア 122例でした。このうち良性疾患のほとんどは4名の後期研修医が術者として施行され、また比較的簡単な悪性腫瘍の手術さえ開腹、腹腔鏡を問わず後期研修医が術者として施行されました。また腹腔鏡手術は悪性腫瘍で38%、良性疾患で49%に行われ、緊急手術が30%を占めました。

当院では乳腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科もありますので、外科専門医になるための必要な症例を十分に経験できます。必要に応じて他科の手術に参加することも可能ですし、関連施設に短期間ローテーションしていただくことも可能です。



### 2. 充実した研修体制

専門医や指導医も多数います。日本外科学会指導医4名、専門医8名、日本消化器外科学会指導医5名、専門医5名の他に、日本内視鏡外科学会の技術認定医（腹腔鏡手術の指導者）3名、日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能指導医1名がいます。開腹、腹腔鏡手術とも熟練した上級医から指導を受けることができます。

病棟業務は上部消化管、肝胆膵、下部消化管2つの4チームにわかれて診療しています。各チームは指導医、担当医、後期研修医の3名で構成されています。8時40分から回診を行い、夕方は各チーム適宜に回診を行います。

カンファレンスは術前カンファ週2回、術後カンファ週1回、カンサーボード週1回行っており、患

者さんに最適な治療を提供するために意見を交わしています。

学会参加や発表も可能で上級医がしっかり指導しています。演者には必要経費に対して補助が出ます。

### 3. 労働環境

月当たり平日 2 回の夜勤、土日の 1 回の日夜勤が原則ですが、夜勤の日中や翌日は休みとなります。残業は月 80 時間以内に抑えるように上級医が配慮しています。後期研修医も有給休暇を取得できます。

### 4. 研修終了後のフォロー

後期研修終了後はどちらかの大学の医局に所属するか、がん専門のハイボリューム施設での研修を勧めています。同じ施設で研修を継続するより、違った施設・指導医の下で研修を重ねることが、外科医として成長するには重要です。当科は東京医科歯科大学、埼玉医科大学国際医療センターと連携しており入局希望者は紹介いたします。

### 5. 後期研修医の感想

#### 研修 2 年目

当科で研修することの魅力は幅広い外科・消化器外科の修練が積める点にあると思います。標準的な開腹手術は主に術者として執刀し、鏡視下手術は虫垂切除や胆嚢摘出、ヘルニア修復から始め、結腸切除や胃切除などを無理なく学ぶことができます。また低侵襲治療として、ロボット支援下手術の症例も豊富に経験出来ます。手術以外では上下部内視鏡検査も外科で実施しておりますので術前の評価から術後フォローまでを体系的に習得できます。ぜひ当科で研修し外科としてのキャリアをスタートしませんか。ご応募お待ちしております。

#### 研修 1 年目

当院の外科・消化器外科後期研修の魅力は豊富な症例、手厚い指導、働きやすい環境です。専門医取得の症例は 3 年間で十分に経験することができ、悪性疾患に対する手術の多くも執刀することができます。年次に合わせて適切な症例の経験と丁寧な指導をしていただき、一人の外科医として日々多くのことを学んでおります。他の診療科や看護師などの医療スタッフとの連携もよく、外科研修に集中できる環境が整っています。

#### 研修 1 年目

私が当院を選んだ理由は大きく 2 つあります。まず救急患者が多いため、豊富な手術経験を積める一方でロボット手術をはじめ最先端のガン手術にも触れることができます。このようなバランスの取れた経験を積むことができる点が大きな魅力の一つです。また科内の雰囲気がよく、手術はもちろん

検査・病棟管理の点でも指導体制が充実しています。私は当院初期研修出身ですが、後期研修医となった今もその印象は全く変わっておりません。

